

## ごあいさつ

私たちヤマトグループは、「社会的インフラとしての宅急便ネットワークの高度化、より便利で快適な生活関連サービスの創造、革新的な物流システムの開発を通じて、豊かな社会の実現に貢献すること」を経営理念に掲げ、お客様の利便性の向上に役立つ商品・サービスを開発してまいりました。

そして、この理念に基づき、2011年1月、長期経営計画「DAN-TOTSU経営計画2019」を策定いたしました。

創業100周年を迎える2020年3月期までに「アジアNo.1の流通・生活支援ソリューションプロバイダー」への進化に向けて、「よりグローバルに」「より地域と生活に密着しながら」をテーマに事業を展開しております。

長期経営計画の第1フェーズにあたる「DAN-TOTSU3か年計画HOP」の最終年度となった2014年3月期における経営環境は、インターネット通販市場の継続的な拡大に加えて、個人消費や企業収益、雇用情勢の回復が見られました。

このような経営環境の中、ヤマトグループでは、日々進化し続けるお客様のニーズに適応するために、宅急便をはじめとする既存事業のさらなる高度化とグループの経営資源を複合的に活用した新事業の展開を推進いたしました。

とりわけ、他社に先駆けて継続的に取り組んでいる徹底した消費者目線での差別化戦略とノンデリバリー事業との有機的な融合によるソリューションビジネスの成長が奏功し、伸長するe-コマース市場において、ヤマトグループとしてのプレゼンスを急速に高めることができた1年となりました。

また、2013年7月には、今後の成長の柱と位置付けている「バリュー・ネットワーキング」構想を発表いたしました。

「バリュー・ネットワーキング」構想とは、当社のコアコンピタンスである国内・アジアの「ラストワンマイルネットワーク」とノンデリバリー事業群との融合により、物流を「運ぶ」から「バリューを生み出す手段」へと進化させるための試みです。



代表取締役会長

瀬戸 薫  
(左)

代表取締役社長  
社長執行役員

木川 眞  
(右)

2013年下期には、この「バリュー・ネットワーキング」構想を推進していく上で戦略的な拠点となる羽田クロノゲート・厚木ゲートウェイ・沖縄国際物流ハブが始動し、品質、スピード、コストメリットのすべてを向上させる物流ネットワークの革新がいよいよスタートいたしました。

以上の結果、2014年3月期の営業収益は、1兆3,746億10百万円となり、前期に対して7.2%の大幅な増収となりました。

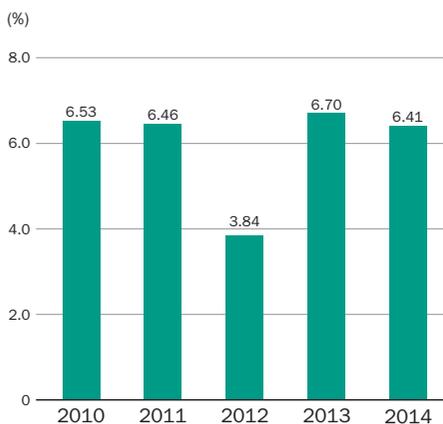
営業利益におきましては、宅急便取扱数量の増加に伴う集配体制の整備や「クール宅急便」品質向上のための体制構築、2014年2月に日本国内で発生した記録的な大雪への対応など、一時的な費用が大きく増加したことで当初計画の達成には至らず、630億96百万円となり、前期に対して4.7%の減益となりました。

また、当期純利益につきましては、347億76百万円となり、前期に対して1.0%の減益となりました。

ROEにつきましては、2014年1月に約100億円の自己株式取得を実施したものの、減益が影響し、6.4%となりました。

	単位:百万円				2014年 3月期	前期比	
	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期		増減	伸率(%)
営業収益							
デリバリー事業	¥ 966,480	¥ 995,651	¥1,014,564	¥1,028,219	<b>¥1,098,693</b>	<b>¥70,474</b>	<b>6.9</b>
ノンデリバリー事業	234,354	240,869	246,269	254,155	<b>275,917</b>	<b>21,762</b>	<b>8.6</b>
合計	1,200,834	1,236,520	1,260,833	1,282,374	<b>1,374,610</b>	<b>92,236</b>	<b>7.2</b>
営業利益	61,389	64,314	66,651	66,203	<b>63,096</b>	<b>(3,107)</b>	<b>(4.7)</b>
(営業利益率)	5.1%	5.2%	5.3%	5.2%	<b>4.6%</b>	-	-
当期純利益	32,282	33,208	19,787	35,144	<b>34,776</b>	<b>(368)</b>	<b>(1.0)</b>
(営業収益当期純利益率)	2.7%	2.7%	1.6%	2.7%	<b>2.5%</b>	-	-

### 自己資本利益率 (ROE)



2014年4月より開始いたしました中期経営計画「DAN-TOTSU3か年計画STEP」では、「バリュー・ネットワーキング」構想の推進と「健全な企業風土」の醸成を2つの柱としております。

「バリュー・ネットワーキング」構想を推進し、高付加価値モデルの提供を通じて、お客様の物流改革に貢献していくとともに、お客様との約束を守る「健全な企業風土」の醸成に向けたガバナンスのさらなる強化を通じて、株主の皆様・お客様・地域・社会・社員すべての満足度を向上させる、バランスの取れた経営を遂行してまいります。

新たな成長の軌跡を歩み始めたヤマトグループにご期待いただきますとともに、株主、投資家の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年9月